

回復期リハビリテーション病棟入院料1の施設基準にかかる院内掲示

◆退棟患者数と回復期リハビリテーションを要する区分別内訳について

算出期間（2024年7月1日～2024年9月30日）

退棟患者の回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳		退棟患者数
患者の構成	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	23名
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	30名
	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、発症後又は手術後の状態	19名
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	3名
	股関節又は膝関節の置換術後の状態	5名
	急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0名

◆直近のリハビリテーション実績指数(6ヶ月実績)

算出期間（2024年4月～2024年9月）

前月までの6ヶ月に回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	131名
上記のうち、実績指数の計算対象とした患者数	95名
上記の患者の退棟時のFIM得点(運動項目)から入棟時のFIM得点(運動項目)を控除したものの総和①	1923
上記の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和②	40.1
実績指数(①/②) 基準値:40	47.9

